



小平市に だいすき 小平市!
平成24年 市制施行50周年



ことしも良いことがたくさんありますように (小平ふるさと村)

平成24年12月定例会は、11月27日から12月20日まで24日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成23年度の各会計歳入歳出決算(詳細は2面に掲載)を認定するなど、40件の市長提出議案を可決・認定・同意・承認しました。請願は1件を受理し、閉会中の継続審査としました。

また、11月28日から3日間にわたり、25人の議員から59件の一般質問がありました。

12月定例会

平成24年度一般会計補正予算(第5号) など40議案を可決

平成23年度各会計歳入歳出決算を認定 児童館の指定管理者を決定

新しい年を迎えて



副議長 浅倉成樹

議長 佐野郁夫

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、夢多き新春を健やかに迎えたいと、心よりお慶び申し上げます。また、日ごろから市議会に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は小平市にとって市制施行50周年という節目を迎えた年でした。さまざまな記念イベントが盛大に行われた中、市議会として子ども議会を開催させていただきました。当日は多くの子どもたちや市民にご参加をいただき、議会や市政に関する理解や関心を深めていただけたのではないかと考えております。

今年、次の50年を見据えて、新たな一歩を踏み出す大切な年になります。4月には市長選挙が予定されており、次の4年の市政の運営が始まることとなります。これまで積み重ねてきたものを礎とし、小平市がさらに安心して安全な住みよいまちとなるよう、新たな決意と目標を持って、さまざまな取り組みを積極的に進めていかなければなりません。

市議会といたしましても、二元代表制の下、市長を代表とする執行機関に対しての議決機関、監視機関あるいは市民の声を代弁する機関として、その機能を十分発揮し、小平市の発展に寄与できるよう28名の議員が全力を尽くしてまいります。また、市民にとって分かりやすく開かれた議会を目指し、引き続き議会改革に取り組み、市民の皆様への期待に応えられよう誠心誠意努めてまいります。なお、現在、2カ年にわたる議会の改革調査を踏まえ、議会としての決意とも言えるべき議会基本条例の委員会素案の作成を進めています。今後、市民の皆様のご意見などを伺いながら、条例制定に向けての議論を深めてまいりたいと考えております。

新春に臨み、市議会に対しさらなるご理解とご協力をお願いいたします。本年が皆様にとって実り多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

◆議員の寄附行為や時候のあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人に、お金や物を贈ることや、時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことは法律で禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。



平成23年度決算総括表

単位：円

Table with 4 columns: Category, Income, Expense, Difference. Rows include General Account, Special Account (National Health Insurance, etc.), and Total.

平成23年度 各会計決算を認定

平成23年度各会計決算の認定議案は、9月定例会最終日に市長から提出され、その後これらの議案を審査するため、一般会計及び特別会計の各決算特別委員会が設置されました。

一般会計は10月9日から11日までの3日間、特別会計は10月12日に審査を行い、採決の結果、いずれの会計も認定すべきものと決定しました。

12月定例会初日の本会議では、永田政弘一般会計決算特別委員長と立花隆一特別会計決算特別委員長から審査報告が行われ、採決の結果、いずれの会計も全会一致で認定されました。

なお、一般会計決算特別委員会における各会派の総括質疑の要旨は以下のとおりです。今回は、紙面の都合により各会派とも2件の質問を掲載しています。総括質疑は、一般会計決算特別委員会の3日目に行われ、答弁については、市長または教育長が行っています。

フォーラム小平

質問 ①市民と行政とのパートナーシップ及び役割分担により新たな公共サービスを構築できたのか。
②教育では多様化する児童や家庭のニーズへの的確な対応が求められるが、教職員の質を担保する対策は。
答弁 ①開館2年目の市民活動支援センターでは利用者や団体数が増加し、事業も着実に実施されている。

市議会公明党

質問 ①緊縮財政運営で市民ニーズに十分こたえられたのか。
②保育に対するニーズが高まり、ニーズの内容も多様化していく中で、認定家庭福祉員や小規模保育施設の新設などきめ細かな保育施設の拡充をどう進めるか。
答弁 ①震災を機に市民の安全・安心に対する要望や期待が高まった。緊急に對

政 和 会

質問 ①民生費の増加が財政に与える影響は大変大きい。どのような対応及び施策が必要と考えるか。
②いじめ問題に対する積極的な対応が求められるが、この年度における実態の認識と今後の方策等は。
答弁 ①少子高齢化の進行等により社会保障関係費が大きな負担となる一方、生産年齢人口の減少により市

一般会計決算に対する 各会派の総括質疑 (要旨)

質問 ①いきいき協働事業では、市単独では実施できない市民団体の特徴を生かした事業を実施するなど、新たな公共サービスを構築する協働の取り組みを着実に推進できたと考える。
②教員の指導力向上を目的とした職層や経験に応じた研修等を実施し、主幹教諭等の研修では、教員の指導力や対応力を向上させるための働きかけという内容を設定した。

質問 ①緊縮財政運営で市民ニーズに十分こたえられたのか。
②保育に対するニーズが高まり、ニーズの内容も多様化していく中で、認定家庭福祉員や小規模保育施設の新設などきめ細かな保育施設の拡充をどう進めるか。
答弁 ①震災を機に市民の安全・安心に対する要望や期待が高まった。緊急に對

質問 ①民生費の増加が財政に与える影響は大変大きい。どのような対応及び施策が必要と考えるか。
②いじめ問題に対する積極的な対応が求められるが、この年度における実態の認識と今後の方策等は。
答弁 ①少子高齢化の進行等により社会保障関係費が大きな負担となる一方、生産年齢人口の減少により市

みんなの党小平の会

質問 ①親子で遊び、知らず知らずのうちに体を動かして鍛えることができる公園、高齢者が足を運び体力維持ができる公園をつくらせて健康問題に取り組むべきでは。
②太陽光発電日本一を実現するための具体的取り組みは。
答弁 ①公園は市民にとって最も身近で、健康増進にも大きな影響を持つ公共施設であると認識して

虹とひかり

質問 ①自治基本条例を策定しただけで、その後の運用を促し進捗状況を管理する担当課がないが、どのように市民参加の進捗や要望をとらえていくのか。
②介助員制度が週2回から3回にふえたが、まだまだ市民ニーズがある中で拡大の検討はしたのか。
答弁 ①市民活動支援センターやいきいき協働事業等を通じて市民

生活者ネットワーク

質問 ①平成23年度の重点の一つとして市民活動支援と地域自治の推進が挙げられていたが、市民参加と自治の関係をどうとらえるか。
②子ども参加と子どもの力を引き出すための取り組みの必要性について、教育委員会の見解は。
答弁 ①市民が参加する段階から、地域の課題をみずから解決する段階になり、地域の主体として地域

日本共産党小平市議団

質問 ①市民の暮らしを守るために行った施策とその成果は。
②特別支援教育について、支援員の配置等を含め、これまでの強化点と今後の取り組みは。
答弁 ①雇用情勢が厳しい中で、市民の雇用機会を創出するための緊急雇用創出事業を実施したほか、事業者への資金の融資あつせん等の経済対策、生活保護を初めとし

質問 ①親子で遊び、知らず知らずのうちに体を動かして鍛えることができる公園、高齢者が足を運び体力維持ができる公園をつくらせて健康問題に取り組むべきでは。
②太陽光発電日本一を実現するための具体的取り組みは。
答弁 ①公園は市民にとって最も身近で、健康増進にも大きな影響を持つ公共施設であると認識して

質問 ①自治基本条例を策定しただけで、その後の運用を促し進捗状況を管理する担当課がないが、どのように市民参加の進捗や要望をとらえていくのか。
②介助員制度が週2回から3回にふえたが、まだまだ市民ニーズがある中で拡大の検討はしたのか。
答弁 ①市民活動支援センターやいきいき協働事業等を通じて市民

質問 ①平成23年度の重点の一つとして市民活動支援と地域自治の推進が挙げられていたが、市民参加と自治の関係をどうとらえるか。
②子ども参加と子どもの力を引き出すための取り組みの必要性について、教育委員会の見解は。
答弁 ①市民が参加する段階から、地域の課題をみずから解決する段階になり、地域の主体として地域

質問 ①民生費の増加が財政に与える影響は大変大きい。どのような対応及び施策が必要と考えるか。
②いじめ問題に対する積極的な対応が求められるが、この年度における実態の認識と今後の方策等は。
答弁 ①少子高齢化の進行等により社会保障関係費が大きな負担となる一方、生産年齢人口の減少により市

議会を傍聴しませんか?

今後の市議会の日程(予定)

開会時刻 原則として午前9時
場所 市役所7階

傍聴される方は、議会事務局へお越しください。

- 2月 4日(月) 総務委員会(※)
2月 5日(火) 生活文教委員会(※)
2月 6日(水) 厚生委員会(※)
2月 7日(木) 建設委員会
2月12日(火) 請願・陳情締め切り(午前中)
2月26日(火) 3月定例会本会議(初日)
2月27日(水) 3月定例会本会議(一般質問)
2月28日(木) 3月定例会本会議(一般質問)
3月 1日(金) 3月定例会本会議(一般質問)
3月 4日(月) 予算特別委員会(一般会計)
3月 5日(火) 予算特別委員会(一般会計)
3月 6日(水) 予算特別委員会(一般会計)
3月 7日(木) 予算特別委員会(特別会計)
3月11日(月) 総務委員会
3月12日(火) 生活文教委員会
3月13日(水) 厚生委員会
3月14日(木) 建設委員会
3月27日(水) 3月定例会本会議(最終日)
(※) 現地調査を予定しており、議案や請願等の審査はありません。

日程、開会時刻は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

主な議案

可決、同意した議案から
主なものをお知らせします。

小平市が管理する道路に設ける 道路標識の寸法等を定める条例

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律が施行され、道路法が改正されたことに伴い制定するものです。

内容としては、これまで省令で定めていた案内標識及び警戒標識、並びにこれらの補助標識の寸法及び文字等の大きさなどを条例で定めるものです。

施行期日は平成25年4月1日です。

空き家等の適正な 管理に関する条例

長い間、適正な管理がなされないまま放置され、防災対策、防犯対策、火災予防対策、生活環境の保全等の面から危険な状態となっている空き家等の所有者や管理者に対し、空き家等の適正な管理を促し、防災及び防犯のまちづくりの推進並びに生活環境の保全に寄与することを目的に制定するものです。

内容としては、空き家等の適正な管理に係る所有者や管理者の責務を定めるほか、市が所有者や管理者に対して行う助言、指導、勧告を規定するものです。さらに、この勧告に従わない所有者や管理者を公表することができると規定するなど、市として適正な管理を求めるための手続きなどについて定めるものです。

施行期日は平成25年1月1日です。

児童館の指定管理者の指定

花小金井南児童館、小川町二丁目児童館、及び現在建設中の小川町一丁目児童館の管理を行う指定管理者を葉隠勇進株式会社とするもので、指定の期間は平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間です。小平市立児童館指定管理者選定委員会を設置し、書類審査及び面接審査を行って選定しました。

仲町公民館・仲町図書館 改築工事(建築工事)及び 旧仲町図書館等解体工事 請負契約の締結について

仲町公民館・仲町図書館改築工事のうち、建築工事及び旧仲町図書館等解体工事の実施に伴う工事請負契約を締結する必要から提案するもので、指名競争入札の結果、大成建設株式会社東京支店が落札し、仮契約を締結しました。

なお、契約金額は消費税込みで6億3千8百40万円です。

平成24年度一般会計 補正予算(第5号)

本補正予算は、平成24年度の終盤を迎え、決算を見込んで事業費の過不足に対応するための予算措置が主な内容です。

歳出の具体的な内容は、総務費では、市民文化会館における改修工事費の不用額を減額します。民生費では、障害者福祉事

業及び児童福祉事業で当初予算額に不足を来す見込みとなったことから、年度末に向けて事業の確実な執行を行うため増額します。土木費では、小平駅北口地区街づくり事業における契約差金を活用し、開発に伴う町の変化をイメージできるデジタル映像資料を作成し、今後の地域説明会等で活用していきます。

消防費では、東京都へ委託している消防事務委託都支出金の確定により増額します。教育費では、仲町図書館・公民館整備事業における工事費について、今後不足する金額を増額します。予算規模としては歳入歳出をそれぞれ3億51万円増額し、総額を5億78億4千8百39万円とします。

また、仲町図書館・公民館整備

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦

笠井 收氏

醍醐 保江氏

笠原 ノリ子氏

常任委員会の行政視察

常任委員会では、先進市等の事業を調査するために行政視察を行っています。平成24年10月24日～26日に実施した視察先、及び視察事項は以下のとおりです。

総務委員会

- 福岡県福岡市 PPPプラットフォーム事業
- 佐賀県 自治体クラウド実証実験
- 熊本県熊本市 行財政改革の取り組み

生活文教委員会

- 大分県豊後高田市 学びの21世紀塾事業
- 山口県下関市 下関ブランドの推進
- 福岡県久留米市 環境アクションプラン

厚生委員会

- 北海道恵庭市 子育て支援
- 北海道旭川市 神楽保育所
- 北海道小樽市 杜のつどい事業

建設委員会

- 兵庫県神戸市 御影地区のまちづくり
- 広島県福山市 東桜町地区第一種市街地再開発事業
- 香川県高松市 高松地区における自転車を利用した都市づくり計画

議案に対する各会派の賛否

12月定例会

(市長提出議案)

○：賛成 ×：反対 () 内は各会派の議員数 ※政和会の議員数は議長を除く数

議案番号	件名	政和(6人)	公明(6人)	フォ(4人)	共産(4人)	生ネ(3人)	虹ひ(2人)	みな(2人)	議決結果
第62号	平成23年度小平市一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
第63号	平成23年度小平市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
第64号	平成23年度小平市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
第65号	平成23年度小平市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
第66号	平成23年度小平市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
第67号	専決処分(平成24年度小平市一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	承認
第68号	小平市固定資産評価審査委員会委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	同意
第69号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	同意
第70号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	同意
第72号	小平市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第73号	小平市民間借上げ高齢者住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第74号	小平市が管理する道路の構造の技術的基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第75号	小平市移動等の円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第76号	小平市が管理する道路に設ける道路標識の寸法等を定める条例	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
第77号	小平市立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第78号	小平市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第79号	小平市暴力団排除条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第80号	小平市空き家等の適正な管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第81号	小平市立仲町公民館・仲町図書館改築工事(建築工事)及び旧仲町図書館等解体工事請負契約の締結	×	○	○	○	○	×	×	原案可決
第82~95号	市道路線の認定及び廃止(10路線の認定、4路線の廃止)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第96号	小平市民活動支援センターの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第97号	小平市立児童館の指定管理者の指定	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第98号	小平市有料自転車駐車場の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第99号	小平市専用水道事務等の事務の委託	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第100号	平成24年度小平市一般会計補正予算(第5号)	×	○	○	○	○	×	×	原案可決
第101号	専決処分(平成24年度小平市一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	承認
第102号	小平市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

市政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をただすことです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、25人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

- (政和) = 政和会
- (公明) = 市議会公明党
- (フォ) = フォーラム小平
- (共産) = 日本共産党小平市議団
- (生ネ) = 生活者ネットワーク
- (虹ひ) = 虹とひかり
- (みな) = みんなの党小平の会

行政一般

小平市政のさらなる前進に向け、市長の決意を問う

滝口幸一議員(フォ) 厳しい経済状況の中、超高齢社会の到来とともに本格的な人口減少社会に突入し、小平市も新しい将来像を描き出す時期だと思いが今後の市政運営についての見解は。

市長 参加、協働、自治を基本理念とする市政運営は定着してきた。平成25年は市制施行50周年を経て新しい第一歩を踏み出す年であり、次の50年、100年に向けてしっかりと道筋をつけなければならない。次なる目標を掲げ、その達成のために市長選挙に挑戦する決意をした。

小平市の財政運営は適切に行われているか

常松大介議員(フォ) 市の財政運営は適切に行われているか。

市長 市の財政状況は市税収入の伸び悩み、社会保障関係費の増加等で厳しい状況にあるが、これまで一貫して歳入規模に見合った歳出規模を有し、コンパクトな財政運営を行いつつ、さまざまな行政需要に対応してきたと認識している。今後は、予期しない収入の減少や災害等の不測の事態に備えるためにも基金を積み立て、将来に備えることが大切と考えている。

公契約条例の制定で市の責任を果たすべき

細谷 正議員(共産) ①制定に向けた検討は進めているのか。②適正な労働環境を維持・改善するためのチェック機能は。

市長 ①制定の必要性も含め情報収集を行っている。試行実施中の総合評価方式の効果や課題の検証を踏まえ、全国的な状況を注視しながら研究していく。

②入札時の最低制限価格割れによる無効措置や、工事請負契約の入札時に積算内訳書の提出を義務づけることによるダンピングの防止等を行っている。

今後の市政運営の諸課題への対応を問う

宮寺賢一議員(政和) ①家庭ごみの有料化への対応は。

②福祉単独事業の見直しと福祉施策の再構築への対応は。

市長 ①資源化の推進や分別の徹底等をさらに促進していく中で検討する必要がある。平成25年度のごみ処理基本計画の改定の際に整理していく予定である。

②より効果的に施策を進めていく必要がある。制度改革の動きや市民生活への影響等を十分見きわめながら検討していく。

マニフェストの功罪等について

宮寺賢一議員(政和) 市長が示した56の約束のうち実現していない項目は何か。

市長 平成24年度中に達成見込みのものを除くと7項目で、障害者が地域で暮らしやすい体制整備、認知症や脳障害などによる生活困難者のグループホームの整備、シングルマザーの就労のための教育訓練給付金の全額負担、仮称みどり債の発行、景

観を生かした魅力あるまちづくり、国分寺市の図書館の小平市民の利用、労働相談窓口の新設である。

市民が利用しやすいホームページに向けて

坂井やすのり議員(みな) ①平成24年10月のホームページリニューアルに当たりどのような情報を提供すべきと考えたか。

②どのような検討結果でパンフレットが現在の位置になったか。

市長 ①よく見られているページや災害情報など重要な情報を分かりやすい位置に配置し、誰もが使いやすいホームページとなるようにした。

②広告欄が目立つ位置にあることで広告掲載の応募が多く、広告収入の確保という点からメリットがあると考えている。

平成24年10月にリニューアルしたホームページ



小平の町を紹介したDVDの学校への提供等について

坂井やすのり議員(みな) ①50周年記念事業で制作したDVDを学校へ配布した目的は何か。

②50周年記念事業で小平の歴史を振り返るとき、このDVD

が果たす役割の位置づけは。

市長 ①市制施行50周年を契機に、子どもたちにも住んでいる町について関心を深めてもらう一つの資料として配布した。

②郷土の歴史、伝統、文化を大切にする事業として位置づけられており、この映像を通じて市政に関心や愛着を持つ契機としてもらいたいと考えている。

農地等の固定資産税評価見直しや生産緑地等の維持等について

小野こういち議員(政和) ①土地の固定資産税評価基準についてはどのような見解か。

②生産緑地法の買い取り請求があつた農地については生産緑地の再指定を可能にできないか。

市長 ①地価公示価格の7割を目途に評価するとの規定があり、現在の課税標準額はそれに近づいているが、現状では課税の適正化及び公平化を図る過程にあると認識している。

②小平市生産緑地地区指定基準では指定できず、国に生産緑地制度の拡充等を要望している。

障がい者の働く場を広げよう

平野ひろみ議員(生ネ) ①市職員の障害者雇用の実態は。

②障害者団体に委託している業務の実態と評価は。

市長 ①平成24年6月1日現在、市長部局で14人、実雇用率2.14%である。平成25年4月から障害者の法定雇用率が2.3%に引き上げられるので、これを満たすよう引き続き障害者雇用に取り組んでいく。

②公園の清掃業務や福祉施設

と委託契約を結び、障害者の雇用の場の拡大と定着においては有効に機能していると考えており、今後も継続したい。

公有財産の有効活用について

虹川 浩議員(公明) ①公有財産を有効活用する計画は。

②民間活力を導入して公有財産を有効活用する考えは。

市長 ①第2次行財政再構築プランで、公有財産の売り払いや貸し付けによる有効活用の促進とその前段となる普通財産化の取り組みについて設定している。

②公有財産を民間事業者に提供する手法は、本来目的で使用されていない公有財産を有効活用できると認識しているが、現

道路・交通

小平南東地域コミュニティタクシーを考える会の進捗状況について

小林洋子議員(フォ) ①考える会のメンバー構成は。

②現在の進捗状況はどうか。

市長 ①自治会9団体、事業者4団体、商店会3団体、商工会、教育機関、活動団体が各1団体の合計19団体となっている。

②この事業についての共通理解を得るため、コミュニティタクシーの取り組みや運行に関する法律上の制約等の説明、意見交換等を行っている。今後は地域特性や運行上の課題を共有し、地域の需要を集約しながら、実証実験運行に向けてルート等の合意形成を図っていききたい。

時点では具体的候補がなく、導入の利点等の研究を進めたい。

市民参加が生きる市政をつくるために

日向美砂子議員(生ネ) ①市民参加を行う目的は何か。

②ごみ処理基本計画を改定する際の市民参加の手法は。

市長 ①小平市自治基本条例で参加とは、市政の計画、実施及び評価の各過程で、執行機関に対し積極的に意見等を表明することとしており、市民の市政への参加を通じて自治の基本理念を実現していくものである。

②公募市民も含む審議会から意見をもらう策定する予定で、素案に対しても市民から直接意見を聞くこと等を考えている。

面標示はできないか。

市長 ①たかの街道からあかしあ通りへ通じ、一部はにじバスの路線にもなっている比較的交通量の多い道路と認識している。

②学園東町通りの該当部分の路側帯内をグリーン標示とする予定であり、今後も交通管理者等の意見を聞きながら効果的な安全対策を検討していく。

たかの街道や周辺道路の課題解決について

山岸真知子議員(公明) ①たかの街道の水車通りから美大通りまでの道路整備の計画は。

②平成24年度の通学路点検で浮き彫りになった課題は。

産業・暮らし

景気対策のための 起業促進サポートをやるべき

堀 浩治議員(政和) ①起業の促進に関する市の考えは。②起業をサポートする計画は。

市長 ①産業の活性化には起業家の育成や支援が必要であると認識し、小平商工会を中心に関係機関と連携を図ってさまざまな取り組みを実施しており、市では融資の利子及び信用保証料の一部を補助している。

②起業を支援する事業は一定程度整備されているが、起業を目指す人をさらにふやすため、小平商工会等の意見を聞きながら支援策を検討していく。

人を元気に、町を元気にするために継続性のある取り組みを

津本裕子議員(公明) ①ぶるべーやコダレンジャーを今後どのように展開するのか。

②市にゆかりのある著名人に観光大使として活躍してもらおうよう進めていく考えはないか。

市長 ①引き続きキャラクターを活用して市の魅力をPRしていくが、さらにキャラクターの

イベントを盛り上げるお笑い芸人「たくさんあります!小平の魅力つたえ隊」



活動の場を広げていきたい。②市にゆかりのあるお笑い芸人を「たくさんあります!小平の魅力つたえ隊」に任命し、一定の評価を得ており、著名人による情報発信は効果的と考える。

農業、農地、農家について

川里春治議員(政和) ①認定農家への補助金が少ないと考えるがどうか。

②生産緑地の災害協定の現状はどうなっているか。

市長 ①15万円を上限に3年に1回程度利用できることを想定し、資機材等の購入費に対する補助を行っている。今後も認定農業者等の意見や要望を聞きながら事業内容を検討していく。

②災害時に避難場所として農地に立ち入ることや生鮮食料品の調達等について、東京むさし農業協同組合との協定を平成24年9月に見直し、現在、116人の同意により52・7ヘクタールを協力農地としている。

中学校給食の地場産農産物利用促進のためのサポートを

橋本久雄議員(虹ひ) ①中学校給食の地場産農産物の購入率をどのように評価しているか。

②中学校給食への地場産農産物の利用促進を支援する考えは。

教育長 ①購入率が向上しており、中学校生徒に対する食育の推進とともに、市内農業の振興が図られていると考えている。

市長 ②食材がまとまった量必要なので献立や年間使用量等の



学校給食センターに納品される地場産農産物

地域と自治会について

川里春治議員(政和) ①市が把握している自治会数の状況は。

②自治会の高齢化に対してどう対応しているか。

市長 ①平成12年度の368団体から微増傾向にあり、平成23年度は375団体となっている。

②例えば地域連絡会という形で、自治会と青少年対策地区委員会など、他の地域団体との交流を後押しし、地域における世代間交流によって自治会の活性化を図ればと考えている。

再び花で送る葬儀も市民葬儀に加え小平霊園に市民優先墓地を

木村まゆみ議員(共産) ①花葬を市民葬儀のメニューに加える検討をしてもらえないか。

②小平霊園に市民優先墓地を設けるよう都に要望できないか。

市長 ①花葬は個人の好み等により仕様や値段が異なり、一律のサービスを提供するのは個別の対応

としてきたが、メニュー化が可能か検討していきたい。

②都の霊園として都民に公平な対応が前提となるため、所在の市町村であっても市民優先枠の設定は困難とのことである。

長寿祝い等はデパート商品券などではなく、地域限定商品券を

木村まゆみ議員(共産) 市が謝礼を出している事業の実績及び長寿のお祝いのデパート商品券の実績は。また、それらを地域限定商品券に変更できないか。

市長 学生ボランティアや公民館講座等の講師への謝礼等の平成23年度決算額は約2億円で、平成24年度の敬老記念品は、88歳の人56人に各1万円と100歳の人25人に各3万円の商品券を贈呈した。これらの謝礼や記念品を地域限定商品券に変更するには商品券の発行が前提となるが、現在のところ考えていない。

公共施設の使用料や事業のあり方と市民活動活性化について

日向美砂子議員(生ネ) ①活動拠点の提供という市民活動支援での市の役割をどう考えるか。

②公共施設の使用料見直しに

小平市民活動支援センター

あすぴあ



当たって施設利用者等との話し合いはどのようになっているか。

市長 ①市民活動の活性化のためには市民団体同士の良好な連携、協力、協調が重要であり、交流の場の確保等によりネットワークの構築を支援することが市の役割と考えている。

②新たな減免基準の案がある程度まとまった段階で、市民との話し合いの場を設けたい。

住宅リフォーム助成で安全なまちづくりと地元建設業の振興を

細谷 正議員(共産) ①地元建設事業者の振興を図ることが、災害時の応援体制の強化につながるのではないかと。

②住宅リフォーム助成制度を実現すべきと考えるが見解は。

市長 ①建設事業者の振興策と災害時の協力とは直ちにつながるものではないが、小平商工会の建設業部会などと意見交換を図る中で検討していく。

②リフォーム助成制度という形では考えていないが、市内産業の育成については、小平商工会や関係機関と連携を図りながら取り組んでいきたい。

常松大介議員(フオ) 発達障害児への支援策において充実している点及び取り組むべき点は。

市長 子ども達の発達に気になる人は、まず身近な支援機関に相談してもらおうことが最も大切であるところとされており、相談窓口が複数あるのが充実している点で、今後は福祉の面だけでなく、子育てや教育などの関係機関等の連携の強化が必要と考える。

教育長 充実している点として各学校における巡回相談の実施があり、今後取り組みべき点は保護者や地域の障害に対する理解を深め啓発を図ることである。

軽度、中等度難聴児に対しての補聴器購入援助について

小林洋子議員(フオ) ①市内の軽度、中等度難聴児の人数は。

②軽度、中等度難聴児への補聴器購入費助成制度を導入している県や市もあるが見解は。

市長 ①身体障害者手帳交付に該当しないため把握していない。②国では助成対象を身体障害

者手帳が交付されている70デシベル以上の人と定めており、身体障害者手帳交付に該当しない人への補助を実施している場合でも30デシベル以上の児童を対象とするなどさまざまであり、今後の都の動向を注視していく。

障がい者へのICT活用による社会参加の支援について

永田政弘議員(政和) ①障害者へのICT機器等の補助を行っているか。

②市の施設にWiiFiを設置すべきと思うがどうか。

市長 ①視覚障害や上肢機能障害1級または2級の人の対し、障害者向けのパソコン周辺機器及びアプリケーションソフト等を給付している。

②利用者の利便性を向上させるものと認識しているが、通信費等の経済的負担等が生じることから施設のあり方を踏まえて検討する必要があると考える。

再び、小平市の発達しょうがい児への支援策は適切か

木村まゆみ議員(共産) ①認定結果が要介護から要支援になった場合にケアマネジャーを交えないようにできないか。

②小規模多機能型居宅介護の通いの部分で低所得者の食事代を助成の対象にできないか。

市長 ①地域包括支援センターが居宅介護支援事業者と委託契約を結ぶことにより、現行のケアマネジャーが引き続き対応することも可能である。

②食事代助成事業の規模を見定めながら財政状況も考慮し、対応の是非を慎重に検討したい。

高齢者が住みながらまちで住み続けられる細やかなサービスを

山岸真知子議員(公明) 地域包括ケアシステムの構築に向け、これまでの取り組みと課題は。

市長 介護保険事業計画では基

障がいがあっても当たり前前に暮らせるよう移動支援の充実を

橋本久雄議員(虹ひ) 市の移動支援事業では知的障害者が利用の対象になり、重症心身障害者が対象にならないのはなぜか。

市長 移動支援には家族による外出支援が困難な場合という介護要件があるが、知的障害者は家族以外の支援に慣れる必要があるとの意見を受け、家族が外出を支援できる場合も利用できるよう要件を緩和した。しかし、重症心身障害者は入浴介助等が家族以外からの支援を受ける機会があり、車いす利用者にはリフトバスが運行されていることから要件緩和を行わなかった。

小平の高齢者は安心して介護保険を利用していいのか

木村まゆみ議員(共産) ①認定結果が要介護から要支援になった場合にケアマネジャーを交えないようにできないか。

②小規模多機能型居宅介護の通いの部分で低所得者の食事代を助成の対象にできないか。

市長 ①地域包括支援センターが居宅介護支援事業者と委託契約を結ぶことにより、現行のケアマネジャーが引き続き対応することも可能である。

②食事代助成事業の規模を見定めながら財政状況も考慮し、対応の是非を慎重に検討したい。

高齢者が住みながらまちで住み続けられる細やかなサービスを

山岸真知子議員(公明) 地域包括ケアシステムの構築に向け、これまでの取り組みと課題は。

市長 介護保険事業計画では基

災害時の水とトイレの対策について

平野ひろみ議員(生ネ) ①貯水槽や井戸水を飲み水として使用する際の安全確保策は。

②都立小金井公園等に防災用トイレが整備されているが、都との連携及び役割分担は。

市長 ①小学校等にある貯水槽の水は普段から飲み水として使用しているため水質上問題ない。震災対策用井戸は、都の要綱に基づき毎年水質検査をしている。②役割分担等はないが、活用に向け情報交換を進めていく。



防災

教育・文化

つながりをいかした
小平市のまちづくりについて

磯山 亮議員(政和) ①小中学生が平櫛田中とかかわる取り組みは行われているか。

②多摩六都科学館と小・中学校とのかわり。

教育長 ①総合的な学習の時間や小学校の図画工作科、中学校の美術科等の授業で平櫛田中の生き方に触れるとともに、鑑賞教材としての活用事例もある。

市長 ②小学4年生の理科の授業の一環としてプラネタリウムを用いた学習番組の投影や学習講座の実施、中学生の職場体験学習の受け入れ等と聞いている。

放課後子ども教室等の今後について

坂井やすのり議員(みな) コミュニティ・スクール、放課後子ども教室、学校支援地域本部事業の三事業を一体的に組織化し、取り組む考えはあるか。

教育長 学校支援コーディネーター



放課後子ども教室

ター等の育成や養成講座等について、放課後子ども教室と学校支援地域本部事業が共同実施する取り組みを始めており、コミュニティ・スクールの基盤づくりにもなっている。今後はすべての学校が地域資源を有効に活用し、地域全体の教育力を高めることを目指したいと考える。

子どもを起業家に育てるには

宮寺賢一議員(政和) ①子どもを起業家に育てることへの教育委員会の考えは。

②今後50年のまちづくりを考えた上で、子どもを起業家に育てることをどう考えるか。

教育長 ①チャレンジ精神や創造性を伸ばし、生き方を考え、学ぶことは必要なことと受けとめており、自分で進路を決定できる能力と多様な職業観等を学ぶキャリア教育を推進したい。

市長 ②地域経済の担い手となり得る人材の育成は意義があり、教育の実践の場を通じて起業家教育の趣旨の実現が図られることを期待している。

薬物乱用防止の施策は

堀 浩治議員(政和) ①市内で発生した薬物犯罪の件数は。

②学校で薬物乱用防止の教育は行われているか。

市長 ①11月20日現在の今年度の検挙者数は覚せい剤が10人、大麻等その他の薬物が5人で、中には若年層や学生、主婦層も含むと小平警察署に聞いている。



薬物乱用防止キャンペーンのポスター展示

教育長 ②小学校では体育科の授業で薬物の乱用は絶対にしてはいけないこと等を指導し、中学校では保健体育科の授業で薬物乱用が人体に及ぼす害、社会への悪影響等を指導している。

公立小・中学校におけるいじめの現状と撲滅への対策について

吉池たかゆき議員(みな) 学校教育の目標を達成する上でいじめはどんな阻害要因になるか。

また、いじめの課題と解決策は。

教育長 いじめによって不登校となつて学校教育を受けられなくなつたり、教室に入らず学習がおくってしまった事例があった。いじめはどの学校、どの児童・生徒にも起こり得るといことを常に認識し、解決しても別のいじめが発生することを課題としながら、今後も毎月実態調査を行って解決につなげていきたい。

いじめの緊急調査をもとにいじめ問題をどうとらえるか

石毛航太郎議員(フオ) ①いじめの件数は何件あったか。

②緊急調査の結果についての

検証とこの見解は。

教育長 ①いじめと認知した件数は小学校26件、中学校45件、いじめと疑われる件数は小学校300件、中学校86件である。

②低学年には平仮名でのアンケート作成など、他の自治体よりきめ細かく行った結果ととらえている。これを活用し、いじめに押しつぶされがちな児童・生徒に原因を分析し、いじめの解決に取り組みることが重要と考える。

文化財の保存などの文化事業への取り組みについて

川里春治議員(政和) 文化遺産、郷土文化や芸能を後世に伝えるための具体的な対策は。

教育長 埋蔵文化財の保全のほか、都の史跡に指定された鈴木遺跡を初めとする各種指定文化財の積極的な保存、活用を努めている。また、鈴木ばやし映像記録保存事業で作成した映像等を活用し、ホームページでの発信やブルーレイディスク等の貸し出しを行うなど今後も地域の文化の宝として周知し、愛着を深めてもらえよう努めていく。

小平の遺跡を歩くイベント

鈴木遺跡・八小遺跡



小川西グラウンドをもっと利用しやすくできないか

立花隆一議員(公明) ①隣接住民からの要望等への対応は。

②電波時計を設置できないか。

教育長 ①砂ほこり対策として散水を適宜行うことや防砂ネットの設置、樹木の剪定では毎年の剪定のほかに可能な範囲で職員が枝おろしを行うこと、落ち葉対策として飛散防止ネットの設置等の対応をした。

②安全を確保する支柱や遠方から時間が判別できる大きさの時計が必要なため現時点では考えていないが、利用者のニーズ等を見ながら必要性を検討する。

愛のチャイムの市民意見について

小林洋子議員(フオ) ①愛のチャイムのアンケート結果は。

②アンケート結果を踏まえた今後の対応は。

教育長 ①愛のチャイムの知名度と曲目、放送時間について質問した結果、ほとんどの人が愛のチャイムを認識していた。

②帰宅時間の目安として十分に役割を果たしていること等がわかつたので放送時間を変更する必要はないと考えるが、保護者の意向を広く把握しながら見直しの必要性を検討していく。

特別支援学校在籍の自宅学習見への支援は考えられないか

橋本久雄議員(虹ひ) ①特別支援学校在籍の自宅学習見の現状をどう認識しているか。

②市としてのサポートを検討する考えはあるか。

教育長 ①都立小平特別支援学

校には、通学が困難な子どもに対し、家庭や病院等を教員が個別に訪問し、指導を行う在宅訪問学級がある。

②都立学校の教育課程として自宅学習を行っていることから、市がサポートを行うことについて検討する予定はない。

利用しやすい市立図書館にするため

浅倉成樹議員(公明) ①ゆつたりとした学習スペースを確保するための方策はあるか。

②図書検索システムで分かりやすく図書を案内できないか。

教育長 ①閲覧や学習のための机は、書架と閲覧スペースのバランスを考慮して配置しているが、今後は、機のレイアウトを変えするなど工夫していく。

②図書検索システムでは、この20年間に受け入れた図書の内容の概略を掲載している。今後は、検索システム内への図書館で企画展示している図書の案内コーナーの作成など、分かりやすい図書案内に一層努めていく。

環境・下水道

3市共同資源化事業の今後の見通しはどのようになるのか

常松大介議員(フオ) 今後の見通しと市の姿勢は。

市長 平成22年に東大和市より3市共同資源物処理施設の受け入れが不可能とされて以来、代替案の提示を求めていたが、平成24年11月に調整会議が開催され、東大和市から提示された具

体案の実施を3市間で確認した。

3市共同資源物処理施設は、小平・村山・大和衛生組合の粗大ごみ処理施設や焼却施設の更新と一体で進める必要があると認識しており、今後も事業の実現を強力に推進していく。

再び、希少金属の眠る小平鉱山発掘で循環型社会の推進を

虹川 浩議員(公明) ①レア

メタルのリサイクルの必要性と効果について見解は。

②レアメタルの回収方法の中で、小平市が行う可能性の高い方法は何か。

②図書検索システムで分かりやすく図書を案内できないか。

教育長 ①閲覧や学習のための机は、書架と閲覧スペースのバランスを考慮して配置しているが、今後は、機のレイアウトを変えするなど工夫していく。

②図書検索システムでは、この20年間に受け入れた図書の内容の概略を掲載している。今後は、検索システム内への図書館で企画展示している図書の案内コーナーの作成など、分かりやすい図書案内に一層努めていく。

市長 ①レアメタルは供給量が少なく希少な金属と認識しており、リサイクルシステムの構築によって安定的に資源を確保でき、廃棄物減量による循環型社会の形成が推進されると考える。

②個人情報情報の漏えいに注意する必要があるのでイベント時などでの対面回収の可能性が高い。

※レアメタルとは

地球上の存在量・産出量が少なく、供給量が少ないにもかかわらず、各種産業での需要が高い希少な金属のこと。

大胆なエネルギー施策で人に優しいまちづくりを

幸田昌之議員(公明) ①市が管理する全街路灯を早急に高効率照明に交換すべきでは。

②太陽光発電システム機器の設置推進の今後の展開計画は。

市長 ①徐々に交換を行っているが、現在も器具のさまざまな開発、改良が行われているので、設置効果を確しつつ予算の平準化も含め慎重に進めたい。

市民にとって魅力ある公園をつくらう

幸田昌之議員(公明) ①公園のトイレのバリアフリー化に対する見解は。

②公園整備を進めるために具体的な中長期計画を作成すべきと考えるが見解は。

公園用水

市長 ①さまざまな人に利用してもらおう施設であることから必要であると認識しており、利用状況や財政状況を踏まえながらバリアフリー化に努めたい。

②厳しい財政状況のもとで適切に公園の維持管理を行っていることは重要な課題となつていくので、今後研究していく。



新しい小川町一丁目地域センター・児童館に設置された太陽光発電機器

②第二次環境基本計画の重点施策として市民が設置する太陽光発電システムへの助成を継続するとともに、設置可能な公共施設に計画的に設置していく。

公共施設

カウンター型磁気ループを活用し 聴覚障害者に優しい対応を

末廣 進議員(共産) 中央図書館のカウンターでカウンター型磁気ループを活用し、障害者に温かく優しいカウンター業務を確立してはどうか。

教育長 図書館では障害者サービスとして録音図書の出し出し等を実施するとともに、毎年障害者交流会を開催して意見や要望を聞き、改善に努めている。カウンターには筆談の案内を表示しているが、特にこれまで依頼がなかったこともあり、職員が利用者に対し、丁寧に温かく接することを徹底していく。

小川西保育園や障害福祉センターの改善は進んでいるのか

立花隆一議員(公明) ①小川西保育園の建てかえの計画は。②指定管理者である社会福祉協議会の障害者福祉センター運



建てかえが予定されている小川西保育園

在宅での子育てを地域で支えるために

岩本博子議員(生ネ) ①恵庭市や杉並区で実施しているプレイセンター事業への評価は。②子育て支援にかかわる団体や人を育てる視点が必要では。

市長 ①親たちによって運営される遊びを中心とした幼児教育の一環としての活動で、家族がともに成長していくことを目指しており、一定の評価はできる。

都市宣言の制定に向けて行動を起こす考えはないか。

市長 ①全国の状況は把握していないが、近隣市では調布市と小金井市が宣言している。

②宣言には一定の効果があると考えられるが、現時点ではより実効性の高い対応を迅速に行うことがいじめを未然に防ぎ、速やかに解決する方策と考える。

保育需要を正確に把握し、待機児童の完全解消に万全を期せ

末廣 進議員(共産) ①この3年間の待機児童の発生をどう自己点検し、総括しているか。

②ゼロ・一歳児の待機児童解消に特別な対応が必要では。

市長 ①平成21年度に増加に転じて以降、平成22年度には100人を超え、喫緊の対応が必要な重要課題と認識している。

②平成24年度の待機児童の9割以上をゼロ・一・二歳児が占めていることから重点的な対策が必要で、来年度の新設園でもなるべく低年齢児の定員を確保するよう努めたが、今後も保育サービスの充実を検討する。

働く家庭の子どもすべてが安全に過ごせる学童クラブの拡充を

末廣 進議員(共産) ①定員を超えた場合の対応基準は。

②1年余りが経過する指定管理者による運営の検証は。

市長 ①定員を21人以上超える状況が2年連続した場合には新たなクラブ室を設置し、定員の拡大を図ることとしている。

②半期ごとに指定管理者が行う利用者アンケートの結果を参考に検証を行っている。今後、市が直接保護者から指定管理者

の評価を聞く調査を行い、さらなる検証を進めていく。

子ども広場は小学校区域に 一カ所の設置をすべき

津本裕子議員(公明) ①現状の6カ所についての評価は。

②今後増設すべきだが見解は。

市長 ①3カ所の増設や開催日数の拡充により利用者が平成21年度の2万7千211人から23年度は6万5千7百人にふえ、一定の評価はできると考える。

②建設中の小川町二丁目児童館が開館すると、児童館と合わせて9カ所を実施することとなり、ほぼ小学校2校につき1カ所を設置していることになるため、直ちに増設する予定はない。

子ども広場で遊ぶ親子



子ども・子育て関連3法で 地域特性をいかした子育て支援を

津本裕子議員(公明) ①子ども・子育て会議は新たな構成や役割で設置すべきでは。

②保育ママの支援として連携保育所を市立保育園が担う体制をつくるべきと考えるが見解は。

当事者等の意見を反映できる者を加える予定である。

②認定家庭福祉員は低年齢児を対象とした保育サービスの重要な担い手で、これまでも支援体制のあり方について意見交換を行っており、支援・連携の方法等について検討している。

都市整備

小川駅周辺はユニバーサル デザインのまちづくりを目指す

山岸真知子議員(公明) ユニバーサルデザインのまちづくりを進めるために多様な市民意見の集約が必要と考えるが見解は。

市長 まちづくりビジョンの策定では地域の実情に即した観点での協議を基本とし、懇談会委員には対象地域内の自治会長や地元の商店会長を中心に参加してもらっている。また、対象地域周辺の自治会や医療・福祉施設、学校関係者、一般公募市民にも参加してもらい、多様な市民意見の集約を行っている。

生態系など自然環境に配慮した エコロード等を検討できないか

立花隆一議員(公明) ①都市計画道路等の道路整備でエコロードを導入できないか。

②道路に接する建築物に屋上緑化等を義務づけられないか。

市長 ①計画段階から工事の実施、その後の管理に至るまで自然環境等への配慮は必要であり、今後も地域の状況を踏まえなが

ら、道路整備による影響を低減する配慮を行っていききたい。

②木造住宅では建築構造上困難なこと、また、一定規模以上の事業では都が指導しているの

で、市が義務づける考えはない。 ※エコロードとは

一般に、道路整備等において地域における生態系の保全や共生に配慮された道路のこと。

小平駅北口周辺の まちづくりについて

岩本博子議員(生ネ) ①駅周辺のまちづくりを考える上でコミュニティの再生という視点は欠かせないが、市の認識は。

②進捗状況も含め情報提供と意見聴取を積極的にすべきでは。

市長 ①駅前再開発という大きな地域課題を自分たちの身近な問題としてとらえることで、おのずと地域コミュニティが盛り上がりが出てくると考えている。

②再開発協議会に移行後も役員と連携し、広報紙の発行や機会をとらえて説明会を開催するなど情報発信に努めたい。

小平駅北口街づくり協議会の 勉強会



喜平橋すいすいプランの 進捗状況等について

浅倉成樹議員(公明) 現在の進捗状況はどうなっているか。

市長 東京都北多摩北部建設事務所へ確認したところ、平成24年度は喜平橋から南側へ向かう都道133号線の東側歩道部分での電線共同溝設置工事及びライフライン工事を実施し、同時に用地取得に向けた交渉を進めていると聞いている。また事業の終了時期は一部用地の取得が難航しているため未定と聞いている。

再び、小平駅西側の小平第1号 踏切はあかすの踏切か

虹川 浩議員(公明) ①小平第1号踏切での調査結果は。

②現在の状況を打開するための具体的対策はあるか。

市長 ①1時間ごとのピーク時間帯は午前8時台及び午後6時台で、連続ではないがピーク1時間の遮断時間が4分以上という状況を確認した。また、進路を譲り合わない歩行者が全体の流れを妨げる状況も確認された。

②踏切自体の改良以外にも、利用者のルール順守やマナー向上を図ることが踏切全体の安全性向上の一助になると考える。

小平第1号踏切と小平駅 構内の自転車通行について

永田政弘議員(政和) ①小平駅西側にある小平第1号踏切の現状をどう考えるか。

②小平駅構内の自転車への対応をどう考えるか。

市長 ①都の踏切対策基本方針で重点踏切の一つとして抽出されており、交通問題の発生や地

域の分断による生活の不便等の課題がある踏切と認識している。

②駅構内は西武鉄道株式会社の管理施設で自転車の通行は認められておらず、エレベーターの規格も自転車の利用はできない現状である。

小平第1号踏切



掲載分以外の 質問項目

【行政一般】

○庁舎食堂の休業に伴い、職員に昼食用の仮食堂の提供を

【医療・健康】

○国民健康づくり運動、健康日本21を受けた健康公園について

○骨髄バンクドナーの支援を検討できないか

【産業・暮らし】

○ふれあいの森林づくり事業について

【公共施設】

○仲町図書館・公民館の合築の経緯と今後について

【防災・防犯】

○地域防災計画の見直し案の策定方法について

市議会1年間の記録(平成24年1月~12月)

〔本会議〕				
名称	会期	本会議日数	会議延時間	傍聴人数
3月定例会	2/28~3/27	5	37:41	104
6月定例会	6/5~6/29	5	29:17	89
9月定例会	9/3~9/27	6	36:43	88
12月定例会	11/27~12/20	5	32:17	73
合計		21日	135時間58分	354人

〔常任委員会〕				
委員会名	開催日数	会議延時間	傍聴人数	視察調査回数
総務委員会	6	18:14	17	5
生活文教委員会	7	10:53	15	5
厚生委員会	6	12:50	38	4
建設委員会	5	13:32	25	8
合計	24日	55時間29分	95人	22回
議会運営委員会	1	—	—	1

〔請願・陳情〕								
	前年からの継続分	受理	採択	不採択	取り下げ	審議未了	継続審査	文書表付
請願	1	3	1	1	1	0	1	0
陳情	0	2	0	0	0	0	0	2
合計	1	5	1	1	1	0	1	2

〔特別委員会〕				
委員会名	開催日数	会議延時間	傍聴人数	視察調査回数
防災対策調査	3	11:51	11	1
議会改革調査	8	21:49	41	0
一般会計予算	3	26:56	17	0
特別会計予算	1	6:36	3	0
一般会計決算	3	29:03	14	0
特別会計決算	1	8:35	4	0
合計	19日	104時間50分	90人	1回

※議会改革調査特別委員会は、4月と12月に市民との意見交換会を開催しました。

請願

12月定例会では請願1件を新たに受理し、1件の取り下げを承認、1件を継続審査としました。
 なお、継続審査となった請願は左記のとおりです。

閉会中継続審査の請願一覧

建設委員会

請願第10号 (仮称)学園東町1丁目計画新築
 工事について

小平市議会 議会改革調査特別委員会 市民と議会の意見交換会報告

小平市議会では2009(平成21)年12月より議会改革調査特別委員会を設置し、議会のあり方について議論を重ねてきました。さらに議論を発展させ、昨年4月より議会基本条例の調査に取り組み、このほど委員会素案がまとまりました。

第4回意見交換会開かれる

去る12月22日には、市民の皆様へ「素案」を提示し、ご意見をいただくという形での第4回「市民と議会の意見交換会」を開催したところです。当日の参加者は34名でした。



活発な意見や提案がたくさん

参加された方のうち、15名の方から、議会報告会の回数や議員問討議の必要性、なぜ会派の規定を設けたのかなど、議会という組織の根幹にかかわる問題もご意見としていただきました。また、当日寄せられたアンケートでは、議会での市民参加にもっと踏み込んだ内容の記述がほしい、議員による条例提案について打ち出すべきではないか、などのご意見が寄せられています。たくさんのご意見、ありがとうございました。

議会改革調査特別委員会では、今後、いただいたご意見についても議論を深め、委員会素案を3月定例会で中間報告します。委員会素案に対して、より広い市民の皆様から引き続きご意見をいただきたいと思います。今後ともご協力をよろしくお願ひします。(なお、委員会素案は議会事務局で閲覧できます。)



皆さんに身近な市議会として

市議会では次のような方法で市議会の活動の内容をお知らせしています。どうぞ活用ください。

市議会の傍聴
 定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催されており、本会議と委員会ほどなため傍聴することができません。

市議会だより
 定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回発行しています。すべての世帯の普通郵便が届くポストに直接配布しています。

音声市議会だより
 5月、8月、11月、2月の年4回、目の不自由な方に音声による市議会だより(カセット版またはデジタル版)を発行しています。視聴を希望する方のご自宅へ郵送します。お問い合わせは議会事務局

ホームページ
 会議録の内容の公開や本会議の録画映像の配信、市議会議員名簿等の掲載のほか、本会議や委員会の内容及び決まったことなどを公開しています。

開いています。また、市議会だよりのバックナンバーもご覧いただけます。

042(346)9566
 FAX 042(346)9567

議会日誌

10月24日~1月22日
本会議、委員会、諸会議など

- | | |
|--|---|
| <p>10月</p> <p>24日 総務委員会行政視察(福岡県福岡市、佐賀県、熊本県熊本市、26日まで)
生活文教委員会行政視察(大分県豊後高田市、山口県下関市、福岡県久留米市、26日まで)
厚生委員会行政視察(北海道恵庭市、北海道旭川市、北海道小樽市、26日まで)
建設委員会行政視察(兵庫県神戸市、広島県福山市、香川県高松市、26日まで)
京都府久御山町議会議員視察来庁(小平地域教育サポートネット事業について)
30日 東京たま広域資源循環組合議会</p> <p>11月</p> <p>6日 総務委員会(西東京市視察)
東京都十一市競輪事業組合議会
東京都四市競艇事業組合議会
三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
7日 生活文教委員会(多摩市視察)
8日 厚生委員会(市内視察)
9日 建設委員会
13日 議会改革調査特別委員会
14日 湖南衛生組合議会
16日 幹事長会議
19日 全員協議会
20日 小平・村山・大和衛生組合議会</p> | <p>21日 議会運営委員会
26日 昭和病院組合議会
27日 12月定例会初日
幹事長会議(臨時)
議会運営委員会(臨時)
28日 12月定例会2日目(一般質問)
29日 12月定例会3日目(一般質問)
30日 12月定例会4日目(一般質問)</p> <p>12月</p> <p>4日 総務委員会
5日 生活文教委員会
6日 厚生委員会
7日 建設委員会(市内視察あり)
10日 防災対策調査特別委員会
11日 議会改革調査特別委員会
14日 幹事長会議
17日 議会運営委員会
20日 12月定例会最終日
議会報編集委員会
幹事長会議(臨時)
22日 議会改革調査特別委員会(意見交換会)</p> <p>1月</p> <p>9日 多摩六都科学館組合議会研修会
15日 議会報編集委員会
17日 防災対策調査特別委員会(市内視察あり)
18日 議会改革調査特別委員会
22日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会</p> |
|--|---|

議場見学



- 《小学3年生》
- 10月25日 上宿小78人
 - 12月3日 十五小61人
 - 12月4日 一小83人

あとながき



※訂正とおわび

前号(21号)2面「平成23年度決算」の介護保険事業特別会計に関する説明のうち、保険給付費を90億6千98万円と掲載しましたが、歳出総額の誤りでした。おわびして訂正します。

12月定例会では仲町公民館・仲町図書館の改築工事等の契約議案や、児童館及び自転車駐車場の指定管理者の指定などさまざまな議案、また、市民の皆様から出された請願等について、活発な議論が交わされました。新年を迎え、気持ちも新たに、市民の皆様が開かれた市議会を、目指すとともに、わかりやすく親しみやすい紙面づくりに編集委員一同努めてまいります。ご意見やお気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1870 小平市小川町二丁目187-1
 042(346)1333
 FAX 042(346)9566